

SSISS

Scientists Supporting Innovation of School Science

NEWSLETTER NO. 1

2008/1/2

NPO 法人 科学技術振興のための教育改革支援計画

1. ニュースレターの第1号をお届けします。
2. ニュースレターの発刊にあたって 理事長 大木 道則
3. ホームページもご覧下さい
5. 支援活動のご提案をお願いします
6. 支援活動報告書等の提出について
7. 会費納入の時期について

◎ニュースレターの第1号をお届けします

SSISS 会員の皆様、明けましておめでとうございます。
本法人も2005年の発足以来2年を経過し、その活動もようやく軌道に乗ってきました。

活動の状況などについては、これまで、総会での報告やホームページ

<http://utsc2.chem.s.u-tokyo.ac.jp/~inorg/SSISS/index.html>

などを通じてお知らせして参りましたが、より迅速に全会員に情報をお伝えすることを目指して、ニュースレターを発行することといたしました。

発行は当分毎月1回程度を予定しています。今回は発行のお知らせが主内容ですが、次回からは、法人の最新の活動状況、特定の学校等に対する支援活動のお願いなどを中心に情報をお伝えする予定です。皆様からの情報やご意見なども随時掲載していくつもりです。

◎ホームページもご覧下さい

SSISS のホームページ（上記 URL）には、これまでの活動の報告や定款などの資料が掲載されています。ホームページも今後充実していく予定ですので、時々はアクセスしてみてください。重要な情報が掲載されたときにはニュースレターでもお知らせします。

◎ニュースレターの発刊にあたって

理事長 大木道則

SSISS の創立以来念願していたニュースレターの発行がやっと日の目を見る事になりました。希望が強くても、具体的にどのような手続きで、そしてどのような手段で発行して、会員の皆様にお届けするか、検討すればする程、難問が出て来たからです。会員の皆様の中には、年会費3000円も払っているのに何もしてくれないではないか、せめて今どうなっているかぐらいは会員に知らせるべきだといった強い御意見をお持ちの方も多いことと拝察します。それが、今回、高橋副理事長の御努力で、ようやく、費用の問題にも目処が付き、電子メールの形で会員の皆様に最新のニュースをお届けできるようになりました（電子メールをお使いでない会員には、郵便またはそれに代わる方法で、ハードコピーにしてお届けします）。差し当たり、1カ月に1回程度の頻度で、レターを発行するのを目標に、レターが、法人の活動状況をお知らせしたり、法人の活動が期待されている政府の動きなども、可及的速やかに会員にお伝えするメディアとしての役目を果たしてくれるよう期待しておりますが、会員の皆様に御協力をお願いするための情報を提供したりする役目も負って貰うことにしたいと思っております。御意見のある方は高橋副理事長宛お申し出下さるようお願いいたします。

◎最近の活動状況概要

19年度にSSISSに対して支援の希望があった学校は、小学校が25校、中学校が15校、高等学校が5校で、その大部分に対して支援が具体化しました。詳細については確定し次第ホームページに掲載する予定です。

今年度の特徴は小学校の数が多いことですが、これは今年度から施行された文部科学省の「理科支援員等配置事業」(略称SCOT)によるところが大きく、東京都墨田区ではこの制度を利用して12校の区立小学校から支援の要請がありました。

SCOTの概要については、下記をご参照下さい。

http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/06083015/002.pdf

◎支援活動のご提案をお願いします

本NPOは発足当初から理事長を中心とする数名の役員が支援先を開発し、実際の支援活動も役員が直接に、あるいは専門分野や地理的条件を考慮して適当と思われる会員の方々にお願いして行なっていました。しかし、活動が拡大するに伴い、これからは会員の方々に支援対象の開発や、支援活動(授業・クラブ活動などの指導や助言、教員や保護者などを対象とする指導・講演など、本NPOの理念に沿った活動)の提案を積極的にお願いしたいと存じます。

具体的な進め方については遠慮なく役員にお問い合わせ下さい。問合せ先は既にお送りしたSSISSの紹介パンフレットに記載されていますが、このメールへの返信でも構いません。

◎支援活動報告書等の提出について

本NPOの支援活動に参加された会員の方は、活動終了後の出来るだけ早い時期に報告書を提出して下さるようお願いいたします。また、活動が数次、または長期にわたる場合には中間の区切りのよい時期にも報告書を提出して下さい。報告書の書式などについて厳密な規定などは現在のところありませんが、ホームページに掲載されている過去の例を参考にいただければと思います。報告書は原則としてホームページに掲載され、一般に公開されることを考慮してご執筆下さい。また、ホームページ掲載に際しては多少の編集を行なう場合があることをご了承下さい。必要な場合には執筆された方にあらかじめご相談いたします。

また、支援活動に必要な交通費や、あらかじめ理事会で承認された教材費などについては、簡単な書類

を提出していただく必要があります。不明な点は廣田理事にお問い合わせ下さい。廣田理事のメールアドレスはSSISSの紹介パンフレットに記載されていますが、このメールへの返信から転送することも可能です。

◎会費納入の時期について

SSISSの活動を支えていく上で、財政基盤の確立は重要な問題です。19年度までは会費を年度末に近い1月に頂戴致しておりましたが、活動が活発なり年度内早期の支出が増加してきたこと、財政の健全化には年度内の実収入で法人の運営を行うのが望ましいこと、他のNPO法人の例でも会費は会計年度の初めに集めている例が多いことなどの理由から今年度は会費請求の時期を幾分早めました。また、次年度からは、さらに早め、年度初めの5月か6月に会費をご納入頂くように致す予定です。会員の皆様にはすでに書状でお願いし、ご協力をいただいておりますが、今後ともよろしく願いいたします。

◎連絡先など

SSISS ニュースレターは高橋景一が編集してお送りします。ニュースレターについてのご意見などは、このメールへの返信としてお送りください。

★このニュースレターはSSISS正会員の方々に送りしています。電子メールをお使いでない方には、FAXまたは郵便でコピーをお送りします。メールアドレスの変更やFAXまたは郵送を希望される方はお知らせ下さい。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

